

館の運営方針	佐倉市立公民館運営計画を基本として、常に地域の実態をとらえながら、使いやすく、親しみのある教育施設として住民の自主的交流、集会、学習などの活動を助成し、地域社会教育活動の中心としてその役割をはたすことに努める。
ジャンルの目標	社会教育団体等が自主的、継続的に活動ができるよう資料の提供や連絡調整などの援助を行うことにより、地域づくりに寄与することを目標とする。

☆個別事業評価一覧

No.	事業名	事業の内容
①	和田地区青少年育成住民会議	近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化しそれに伴い青少年に関する問題は複雑かつ深刻化している中、こうした問題の解決のため、市民1人ひとりが問題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協同して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成された。 組織としては市内7地区の青少年健全育成住民会議と、子ども会育成連盟、PTA連絡協議会などその他構成団体からなり、事務局は佐倉市健康こども部児童青少年課が行っている。 和田地区青少年育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成と非行防止、福祉を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみ活動を伸長させることを目的としている。 主な活動としては、防犯/パトロールや地域行事の企画/運営、各種団体への助成などを行っている。
②	和田小学校PTA民俗資料収集委員会	昭和45年、和田小学校PTAが校史編纂と民俗資料の収集活動をはじめ、46年11月に収集委員会を設置した。収集された民俗資料は、和田小学校郷土学習室、和田公民館民俗資料室での公開を経て平成11年10月に佐倉市へ寄贈された。 ふるさとまつりでの伝承遊びの実演、しめ飾り講習会など、和田の特色を生かした活動を実施している。公民館では地域の民俗や歴史学習の一環として収集委員会の活動を援助している。
③	和田はたおり保存会	和田小PTA民俗資料収集委員会の活動で収集されたはた織機を、地元の高齢者が中心となって復元し、昭和51年に和田公民館で開講したはたおり講座の受講生によって、和田はたおり保存会が結成された。公民館では、和田地区の伝統技術の保全と、はたおり機の動態保存の面から援助を行っている。主な活動としては、年間を通じての定期活動や繻の栽培、歴史民俗資料室を訪れた小学生に対して、糸づくりやはたおり機の実演を行った。
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		

☆ジャンル総合評価

個別事業における、ねらい・運営方法・学習テーマ・対象者・講師・資料・広報等、事業全般		
企画	企画段階での課題と解決策	A: 各個別事業の想定課題は正しかった。 B: 各個別事業の想定課題はまあ正しかった。 C: 個別事業の想定課題が違っていたところがある。 i: 途中で変更した。 ii: そのまま進めた。
実施	実施しての課題と解決策	A: 各個別事業の想定課題の解決は進んだ。 B: 各個別事業の想定課題は解決はまあ進んだ。 C: 各個別事業の想定課題とは別の課題が出た。 i: 別の方向に進めた。 ii: そのまま進めた。
点検	点検しての課題と展望策	各団体ともイベントを行っており、多くの方が参加できるようにイベント内容のさらなる充実を図る。
改善	次年度への課題と展望策	A: 事業拡大。 B: 現状規模での継続。 C: 事業縮小。 D: 目的達成により終了。 E: 統合・改善・その他 ()

総合評価	
A	事業規模 A: 適切で成果が得られている。 B: 課題あり、成果が得られている。 C: 課題あり、成果があまりない。 D: 成果が得られていない。 E: 現段階では判断できない。
	成果 各団体に援助を行うことにより、団体の運営がスムーズにできた。 和田はたおり保存会については、動態保存の成果として、各種織物が完成しただけでなく、見学や体験学習の申し込みが増加した。 課題 和田地区青少年育成住民会議については、今後とも小学校OBが多く参加できるようにイベント実施や広報活動を行う。和田小学校PTA民俗資料収集委員会については、しめ飾り講習会等は技術が必要なため、役員の任期が終わっても引き続きボランティアで技術の伝承をしてくれる人材を育てる必要がある。和田はたおり保存会については、活動を紹介するPR活動を今までよりも多くの機会をとらえて実施していきたい。

☆公民館運営審議委員意見

委員	
総合評価	A

委員		
総合評価	A	

委員		自分が20代後半から30代にかけて所属していた地区団体はしだいに活動が停滞していったが、和田地区で今も継続されているのは公民館の貢献が大きいと思われる。また、はたおり保存会についても30年ほど前に見学に行ったのを覚えている。団体育成という視点での活動は大いに評価できる。今後については、この事例を参考に多くの団体が活性化されることを期待したい。
総合評価	A	

委員		初心者にはとてもむずかしそうな「はた織り」、和田地区の伝統文化・技術を是非これからも残してほしいと願います。
総合評価	A	

委員		<ul style="list-style-type: none"> ・和田地区の特色を生かした活動であり、この活動をととして地域おこしができないだろうか。 ・和田小学校、はたおり保存会、公民館の指導協力を得て、さらに発展できるようにしたい。 ・青少年育成住民会議の役員構成について検討されているのでしょうか。
総合評価	A	

委員		<p>社会教育の大きな目的の一つに、地域教育や活動を担う人材や団体を育成・支援することがあります。そして、人材や団体の育成にあたっては、主体性を尊重しながら進める必要があります。このため、地域活動への問題意識の共有、団体の結成や活動継続のための基盤づくりを中心とした下支え的な支援が必要となってきます。和田地区は、良い意味での伝統的な地域社会性が色濃く残されています。それは地域活動団体により運営され、地域住民が一体となって行われる「和田ふるさと祭り」に現れています。この祭りの実現には、様々な地域活動団体の連携した組織である青少年育成住民会議が大きな役割を果たしています。</p> <p>また、和田地区には和田ふるさと館歴史民俗資料室という、地域文化や歴史の展示施設があります。佐倉市全体を俯瞰する歴史・民俗資料館がない現在、この機能を持つことは特筆されるものです。それを担っているのが、民俗資料収集委員会です。地域を知る手がかりを自ら集めるばかりではなく、わら細工などの伝承活動も行われています。公民館による事業内容の検討などへの支援が、地域団体の継続した活動となって現れているものと思います。</p> <p>和田はたおり保存会の活動は、地域という枠を越えて全市的な学校教育教材にまでなっています。展示活動等情報発信活動も活発であり、特色ある地域文化の継承ということからも、公民館として果たす役割は、今後さらに大きくなるものと思います。いずれにしても、地域団体支援活動が確実に進められていると感じます。</p> <p>また、会の活動がコミュニティビジネスとして発展していければと思います。ただ、公民館活動としては、この領域ともなると限界もあり、市民の起業という視点から、産業振興担当部門との連携、商工会議所等の支援が必要と思います。市民産業としての起業も視野に入れた取り組みを期待したくなります。(例もあり、異論もあるとは思いますが。)</p>
総合評価	A	

委員		<ul style="list-style-type: none"> ・和田地区に伝わる「はたおり、については地域住民も過去のこととして忘れかけている文化ではないでしょうか。 ・そのような中、技術と保存は大変重要なことと思います。 ・材料である綿の栽培、機械・道具の整備、発表の場、人材育成と多岐にわたる支援があつてこそ団体も文化も存続しているのだと思います。
総合評価	A	

委員		<p>和田地区青少年育成会議においては、小学生から高齢者までの幅広い参加者があり望ましく感じます。</p> <p>また、小学校PTA民俗資料収集委員会においても、公民館施設の提供等の援助により事業がスムーズに運営できたことは良かったと思います。両事業の今後に期待します。</p>
総合評価	A	

委員		<p>技術・文化を伝承していく為のバックアップは、丁寧に行われているようで高く評価できる。</p> <p>人材の育成については、小さな子どもから始まっていると思うのでどの世代にもPRし続けて欲しい。</p>
総合評価	A	

委員		地域に密着した団体とのコミュニケーションを重視され、各団体が活動しやすい環境作りをされており、今後の事業展開が楽しみ。
総合評価	A	

委員		昨年私はスポーツ大会に参加させていただきました。和田という地域性でしょうか、参加者は幼児から高齢者まで幅広く参加しており、和気藹藹と交流していました。このような地域ぐるみの事業を今後も続けていくことを期待します。
総合評価	A	

委員		地域づくりに寄与することを目標にした各種団体は、相互に連環してまちづくりを円滑に進める基軸になっている。青少年育成住民会議のふるさとまつり、非行防止活動などの事業には幅広い年齢層からの参加があり活況を呈した。はたおり、竹馬、しめ縄飾りなどの伝承活動を促し、地域パワーを引き出すイベントの一層の発展をはかるためなど、全面的な行政支援が求められる。
総合評価	A	

委員		団体の育成は、自主活動促進事業ですから、発足させ維持するのは難しいことです。和田公民館の育成団体は、青少年育成の団体、民俗資料収集の団体及びはたおり保存会の3団体です。和田地区にも健康とか、環境とか、防犯とか料理、武道とか、市民にも興味を持っている方々はまだまだ多くあると思います。市民の皆さんに積極的に働きかけ、新たな団体の育成に努力を御願いたします。
総合評価	B	

委員		地域住民が少ないので事業計画にも苦労がある事は理解できる。従って、各活動団体が活発な地域活動を進めるためには、公民館がどのようなサポートを出来るかに掛っていると思う。 団体の立ち上げ手続きや、活動の進め方まで踏み込んだ支援(指導)を公民館スタッフが行っても良いのではないだろうか。和田の地域資源に地域住民が誇りを持ち、地域の為、自分のためと思える活動に結びつけ、他地域から人が来るような事業を行う団体の立ち上げやリーダーの出現を期待したい。
総合評価	A	

委員		公民館が地域づくりに寄与している地道な取り組みであるため関係者の大変な苦労があると思うが地域の文化を継続して欲しい ・はたおり保存会は、他の場所出張講座を開くなど幅広くアピールできないだろうか 伝統技術の保全とはたおり機の動態保存の援助は素晴らしい
総合評価	A	